

応急手当（止血法）

- ★ おもに外傷により出血している傷病者が対象となります。
- ★ 出血量が多く、激しいほど止血を急ぐ必要があります。
- ★ 出血部位、出血の種類、性状及び程度その他、傷病者の顔色、四肢の変形、ショック症状がないか、全身をよく確認します。

【止血法の手順】

直接圧迫止血法

ほとんどの出血はこの方法で止血できます。

感染防止のため、
ゴム手袋等をする。



ゴム手袋がない場合はビニール袋などで代用し、**直接血液に触れない**ようにする。

※手当て後は、必ず流水で十分に手を洗いましょう。

清潔で厚みがあり、出血部位を十分に覆うことのできるガーゼやタオルなどを当て、その上から手で**強く圧迫**して止血する。



前腕部



下腿部

- ・片手で止血できなければ、**両手で**圧迫したり**体重をかけて**圧迫したりして止血する。
- ・圧迫したにも関わらず血がにじみ出る場合は、圧迫している部分の上に**ガーゼやタオルを重ねてさらに強く圧迫**する。